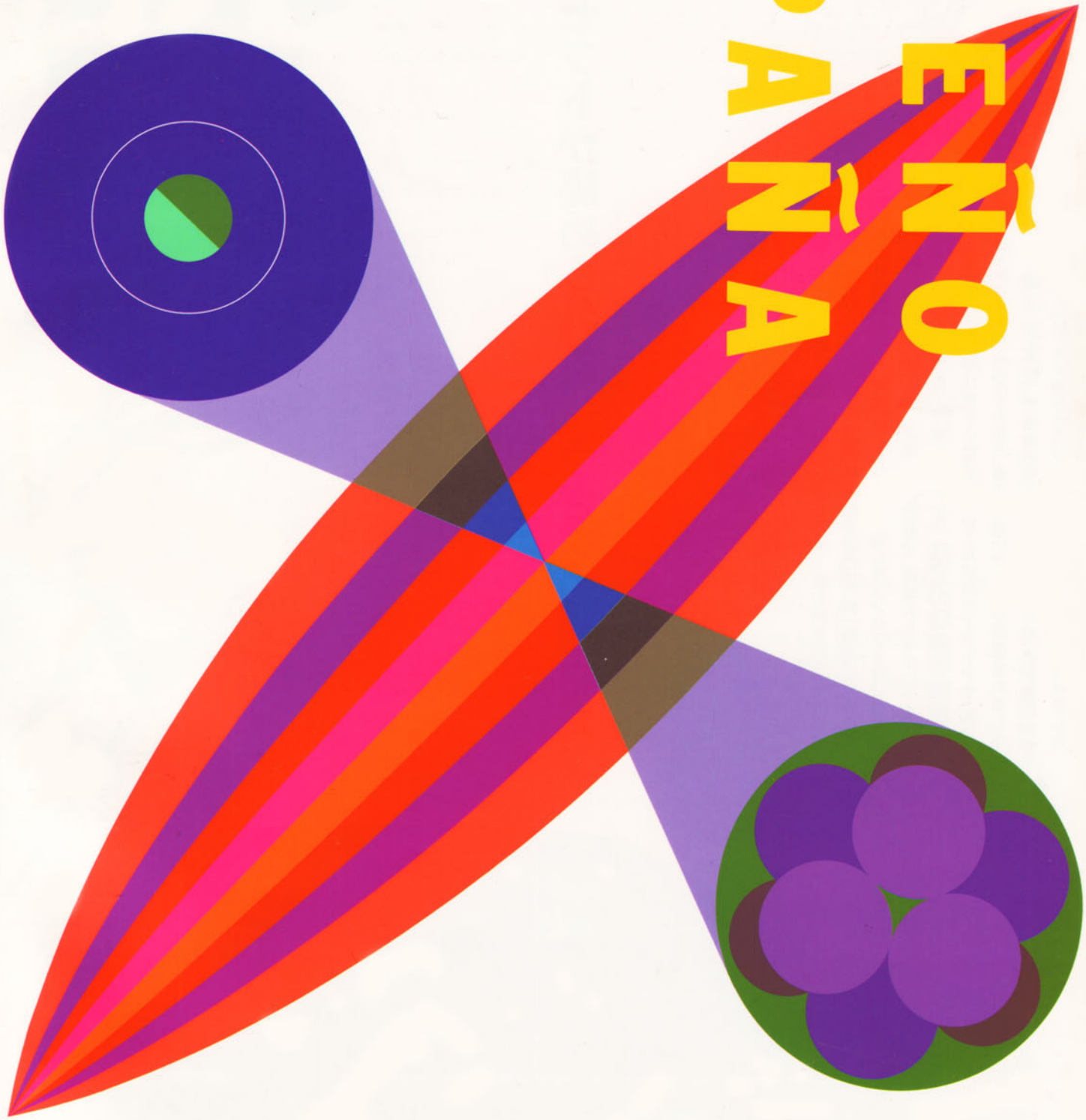
Magazine for Industrial Design

Design News

Japan Industrial Design Promotion Organization

DISEÑO ESPAÑA



特集：スペイン・デザインの爆発

Diseño España

218



❶「両刃アースムービングブレード」
（メーカー：EMU社）

カンガルー達の秋

オーストラリアのデザイン賞　酒井俊彦

CLOSE UP

今回はオーストラリアのデザイン・アワード３大話．まずは、オーストラリアンデザインアワード．これはオーストラリアンデザインカウンシルが運営している賞で、他の国のデザインカウンシルが主催しているものとは一風毛色が違っている．申請は随時受付、一つの申請商品に対して、約4週間にわたり、43の項目について、デザイン、製造技術、使い勝手、耐久性などをテストする．合格点であれば申請から４週間後に賞が贈られ、そのとき同時に調査報告書も手にすることができる．もし落選しても報告書は貰えるので、それにしたがって改良を加えれば晴れて受賞することができる．賞というよりは、国をあげてのTQC運動と言ったところ．受賞すると、賞のロゴマークを商品の広告等に使用できる資格（２年間有効．最高15,000ドルのライセンス料は各年支払う．）が得られる．

1976年に始まったこの賞も、リセッションのあおりを受けて（こともあろうに、デザインカウンシルは一度破産している．現在は、スタンダード・オーストラリアの一部門として活動している．）、1986年から1990年までの４年間中断されていたのだが、昨年末から、ようやく再開した．「前は6部門それぞれに年間最優秀賞を設けていました．できれば、今年度末からそれも再開したい意向です．ただ、それはそんなに重要なことではありません．あくまで世界の消費者と、オーストラリアの製造業者のために、高品質、グッドデザインな製品をバックアップしていくことが我々の使命ですから．」と、ディレクターのキース・ジョーダンは、ごく当たり前のことのように語ってくれたが、派手な賞のネタのほうにばかり気をとられていた私は、この言葉にすっかり反省してしまった．

とは言うものの、何か派手な賞はないかということで捜したのが「BHPスチールアワード」．私企業のやってる賞が地味なわけはないと思ってイソイソと取材にいく．今年で７回目のこの賞は、すでに製造、または設置された鉄を使ったあらゆるプロダクトを対象とし、その革新性、デザイン性、鉄という素材に対するアプローチの仕方などを対象に、選定される．今回はコンストラクションカテゴリーに、「ヤラフットブリッジ」、インダストリアルカテゴリーにEMU製の「両刃アースムービングブレード」、コンシューマーカテゴリーに、ハイテクマスター社の「ロープテンショナー」、そして、プライマリーインダストリーカテゴリーにメコ社の「モービルブーツ」が選ばれた．

ユニークなのはその商品で、それぞれに4000ドル相当の広告が贈られるのである．つまり、パンフレットや、販促ビデオ等のデザインから製作、配布の一切をBHPが行うというものである．ここオーストラリアでは、製造業の会社の規模が非常に小さいため、すべての宣伝を、しかもBHPのような名の通った会社が引き受けてくれるということは非常にメリットのあることなのである．そしてまた、BHP自身にとっても、この宣伝のおかげで製品が売れれば、その会社がBHPから鉄を購入するという、うれしい循環が生まれる仕組みになっている．利益と、社会性を見事に兼ね備えたシステムを前に、「優勝賞金1000万円！　金出しゃ文句ないだろー」式の賞を思い浮かべていた私はふたたび反省．

さて最後は、オーストラリアで数々のデザイン賞を受賞した「スカイガーデン」．これは一昨年の６月にオープンしたシドニーのテナントビルなのだが、ギマールを模したファサードを持つこのビルは、様々な賞を受賞している．最近ではマスタービルダーズ協会のエクセレント・イン・コンストラクション・アワード、アメリカのインターナショナル・カウンシル・オブ・ショッピングセンターの主催するイノベーティブ・デザイン・アワードがそれである．内外装ともに派手、そして受賞歴も派手．トニーマスターのお伽の国のような内装にみとれているうちに、先ほどまでの反省はどこへやら．やっぱり派手な話が一番楽しい！



❷



Australian Design Report

それゆけカンガルー！

❷コーヒーサーバー Café·Bar
（メーカー：QUINTET社）
❸テナントビル スカイガーデン のインテリア